学校番号	322

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次 （体育科）
使用教科書	「新編論理国語」　（東京書籍）						
副教材等	「新版二訂みるみる実力アップ現代文３」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に論理的文章を読み、筆者の伝えたい事柄を正確に読み取り、また自身の考えを論理的に文章にする力を育成します。そのため、漢字や語句に関する正しい知識を併せて学習します。さらに、自身の考えを効果的に伝えるための協働的な学習が含まれます。
・家庭学習における課題については、定期的に提出を要します。そのため計画的に学習を進めていきましょう。また、授業時には板書事項だけでなく気づいた点や気になった点を書きとめ、主体的に授業に参加するようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会において必要な論理的に書き、批判的に読む基礎を習得し、適切に読んだり書いたりすることができる。	情報の妥当性や信頼性を正しく吟味し、適切に文章を読解することができる。また、自身の意見や考えを基に多面的かつ多角的な意見を持ち、正しく論述することができる。	正確な言葉に対しての知識を習得し、言葉を巧みに用いながら、自身と他者の文章を読み比べたり批評しあったりすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	筆者の考えを手がかりにして，自分の生き方について考える。論の展開に注意して読む。 ［教材］「最初のペンギン」「豊かさと生物多様性」	a:言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b:[読]文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え，課題について，学習課題に沿ってまとめ，理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして，自分の日常を見つめ直す。 ・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで，人間に対する筆者の考えを捉える。 ［教材］「カフェの開店準備」「鏡としてのアンドロイド」	a:・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b:「読」文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでその考えを理解し，学習課題に沿って自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ，話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
2	・言語と認識の関係について，具体例をもとに主張している評論を読み，言葉の働きについて考える ・本文中の二つの課題を追体験して読み，科学的視点の持ち方とその意義を理解する。 ［教材］「言葉は『ものの名前』ではない」「科学的『発見』とは」	a:・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b:[読」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り，学習課題に沿って言葉の働きについて考えをまとめ，話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み，情報と知識について理解を深める。 ・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し，現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。 ［教材］「知識における作者性と構造性」「もう一つの知性」	a・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。: b:「読」文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:積極的に論拠をたどることで筆者の述べる本来の「知性」の在り方を理解し，今までの学習を生かして自分たちが現代社会を生きるうえで筆者の提案を	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

		どのように結び付けることができるか，話し合おうとしている。			
3	・二つの例の対比に注意して論旨をたどり，貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。 ［教材］「ホンモノのお金の作り方」	a:・言葉には，言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b:「読」関連する文章や資料を基に，書き手の立場や目的を考えながら，内容の解釈を深めている。 c:進んで筆者の示す問題提起と結論を具体例から読み取り，学習課題に沿って抽象的な「貨幣」というものの本質について，経済の仕組みとともに理解を深め，話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間